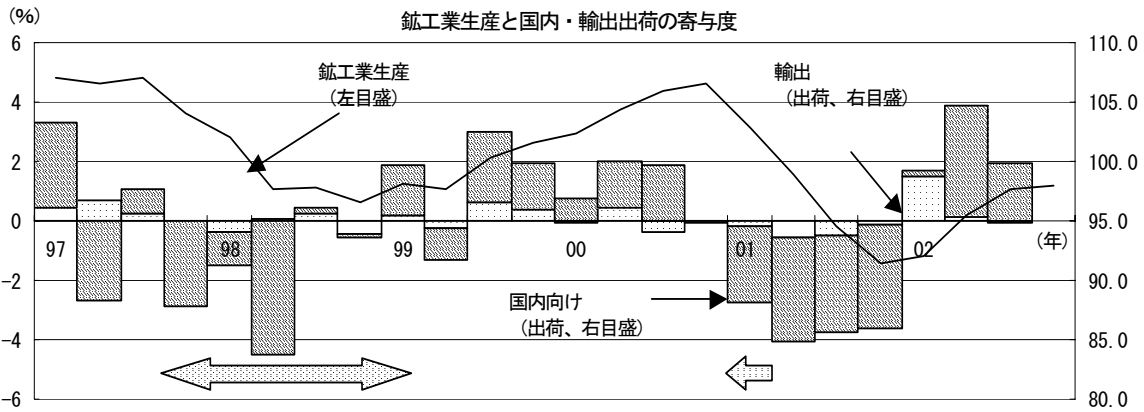


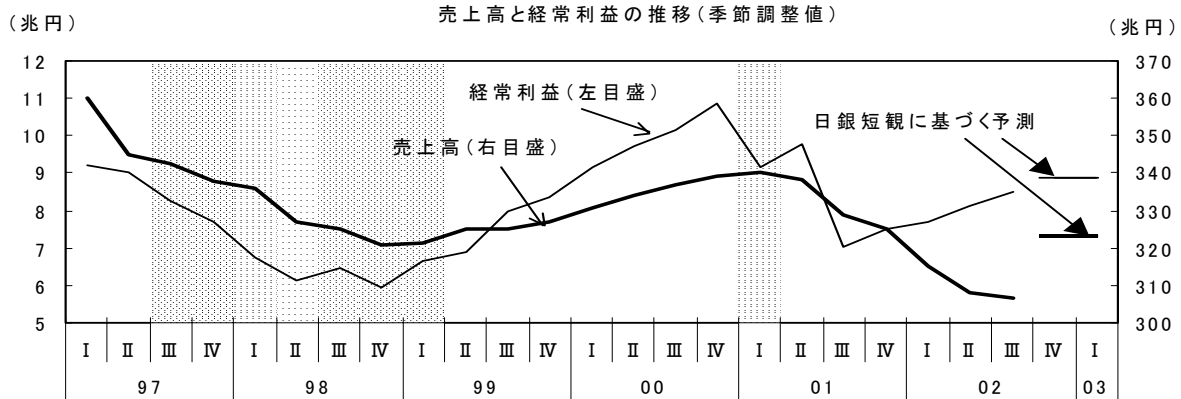
【今月のトピック】 鋳工業生産と企業の動向

＜ポイント＞

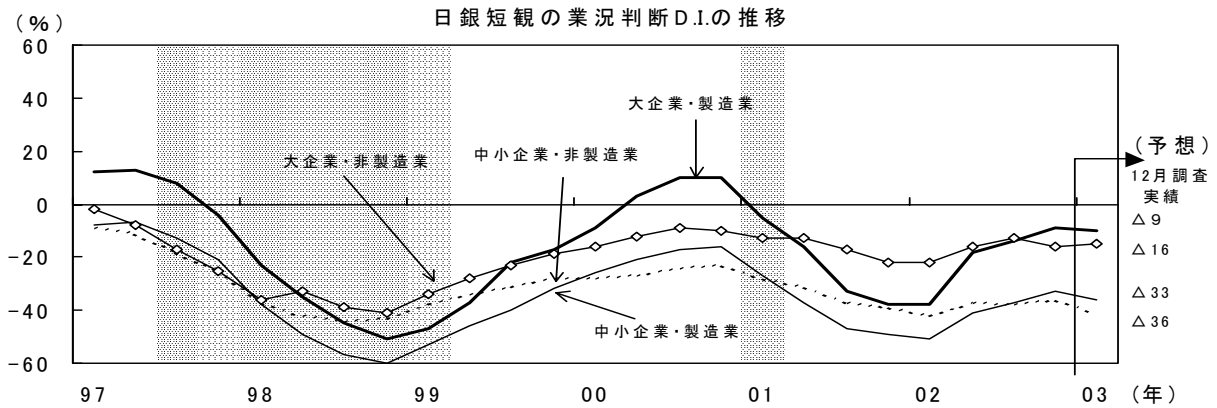
1. 輸出は、IT関連などの最終需要の伸びが世界的に鈍化するなかで、年初来の在庫積み増しの動きに一服感がみられており、電気機器を中心にこのところ弱含んでいる。
2. 鋳工業生産は、在庫調整が終了していること等を背景に三四半期連続で増加してきた。しかし、このところ輸出が弱含んでいること等を反映し、生産は横ばいとなっている。
3. 「法人企業統計季報」によると、平成14年7-9月期は、企業のリストラ努力等により増益に転じたものの、売上高は引き続き減収となっている。
4. 日銀短観では、平成14年度下期は、前年度比で大幅な増益を見込んでいるが、企業の業況判断については、改善が見られる一方、先行きに慎重な見方も出てきている。



備考：経済産業省「鋳工業指数」、「産業活動分析」により作成。⇄は景気後退期



備考：財務省「法人企業統計季報」より作成。シャドー部は景気後退期。



備考：日本銀行「全国企業短期経済観測調査」14年12月調査による。D. I. は「良い」-「悪い」。シャドー部は景気後退期。